ふるさと わがまち わが地域

世帯数 79世帯 人口 177人 (平成28年9月末)

前回(26/8)より 世帯数 ▲7世帯 人口 ▲14人

世帯数 109世帯 人口 513人 (昭和30年10月1日)

近畿最北端!自然と最先端が共有する

袖志(そでし)地区(更新2)281005



★地域概要

袖志地区は、一説によると経ヶ岬から袖志に至る道中に変化にとんだ岩石が多く、その中に着物の袖に見える石があり、そこから袖石と呼ばれ、転じて袖志になったといわれています。昭和30年には、109世帯、513人の方が農業と漁業と織物で生活していました。近年は少子高齢化に伴い、休耕田の増加、生活様式に伴う織物の衰退、後継者不足などの問題を抱えています。地区内には他の地区には見られない五本の川(寺川、西川、中川、夕知川、落川)が流れています。袖志の先端には、観光地として全国的に有名な経ヶ岬があります。経ヶ岬の海抜140m地点には、室戸岬灯台(高知県室戸市)、犬吠埼灯台(千葉県銚子市)、と並ぶ日本三大灯台の一つである経ヶ岬灯台があります。「京都百景」にも選ばれた景勝地です。なお、11月1日の「灯台記念日」の行事として平成28年10月29日(土)は、海上保安庁経ヶ岬灯台一般公開日ですのでぜひお越しください。



岳山(だけやま・451m)のレーダー 地元では「だけさん」と呼ばれています





平成11年、「袖志の棚田」日本の棚田100選に認定されています。

地域再生の一環として、棚田の保全と再生を目的に平成23年に「袖志棚田保存会」が立ち上がり、30アールの田が甦りました。

刈り取られた稲は「稲木(いなき)」に架けられ天日干しで、自然の恵みを授かり丹精込めて作っています。ネーミングも地元の名前を付けて「袖志米」として販売しています。ぜひ、この機会に一度食してみてください。

棚田の概況

(枚数)400枚、(水源)河川、(事業導入)無し、(法面構造)土羽及び石積 (開発起源)近世(戦国~江戸時代)

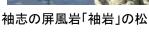
また、四軒(かめや、然&粋、ひらのや、まつした)が袖志の自然を生かした体験型「農家漁家民宿」を平成24年から営業を開始しています。

5月中旬「田植え体験」9月下旬「稲刈り体験」 連絡先0772-76-0565



ワカメ, イカなども天日 干ししています。









経ケ岬灯台は、明治31年12月25日に建設、初点灯をして以来今日まで、日 本海を行き交う船舶の安全を守り続けてきました。また、明治のロマンを残す白 亜の灯台は、京都百景にも選ばれ、丹後半島を代表する景勝地として、訪れる 人々を魅了してきました。そして、丹後町のシンボルでもあり、昭和61年には映 画「新・喜びも悲しみも幾年月」(監督・脚本:木下恵介/出演:加藤剛/大原麗子/ 中井貴一/紺野美沙子/田中健)にも登場し、一躍全国の注目を集めました。

この灯台のレンズを回転させる機械は、水銀槽式回転機械と呼ばれるもので、 1893年フランスの技師、プール・デーコ氏が重いレンズを円滑に回転させるた め発明したもので、当時、画期的な発明として、世界中から注目され、パリで開 催された万国博覧会に展示されたものを、そのまま購入して経ヶ岬灯台に設置 したものです。それから今日まで、永遠の光を日本海に投げかけています。

施設及び業務

経ヶ岬灯台は、海抜140mに位置し、構内には灯台の他に、レーダー搭載船 に信号を送るレーマークビーコンと、船舶気象予報観測所が設置されており、付 近を航行する船舶に対し航行安全のお手伝いをしています。

船舶気象通報観測所では、経ケ岬の気象状況を自動観測し、越前岬灯台に 併設してある放送所を経て放送し、海難防止に努めています。諸施設は、完全 自動化され、現在、舞鶴海上保安部が巡回管理によって運用しています。



山頂展望台(入り口から400m)

大阪よりの17名のツーリングで経ヶ岬に(25年度撮影)



棚田での田植え風景。小型の田植え機と手作業で丹精込めて作っています。 (25年度撮影)

棚田100選の景観に訪れた 観光客の方々。はるばる名 古屋から来ていただいてい ます。(丹後半島八景めぐり ツアーより・撮影了解済みで す。25年度撮影)

無洗米



袖志の棚田米です。皆さ んに、ぜひとも食していた だきたいです。 お取り寄せも可能です。



お米のラベルは京都市立芸 術大学の学生さんのデザイン



智源寺の末寺で本尊、地蔵菩薩 創立は不詳であるが、承応二癸巳年(1653)存龍和 尚の開基、村の東端にあったものを163年を経て字 西に移し、明治43年現在地に再度移転した。 清涼山 九品寺は、萬福寺境外仏堂です



木造地蔵菩薩立像



京都の自然二百選のクロマツ(平成3年6月14日選定)





山門の両側には、室町時代後期から江戸時代前期に寄木造りで制作された1.6mの持国天像(東方)と多聞天像(北方)がありましたが、平成11年に盗難にあい現在まで発見されておりません。お心当たりの方は萬福寺(0772-76-0007)にご連絡ください。



宇川牛発祥地の石碑

穴文殊内にある文殊市跡の石碑です。 かつては徳川時代から袖志の穴文殊境 内で、旧7月25、26日両日文殊祭に近 郷の農家、馬喰で牛市が開かれ、これを 文殊市と呼んでいました。

最初は、尾和・袖志・筒川村の三部落で始められたものと言われ、しだいに宇川全域に及び、この事を記念して、宇川畜産振興会が昭和30年8月建立。



お百度参りの石です。 昔は、参道の真ん中にありお百度を 踏んでいましたが、参道整備のため に、現在は脇に置いてあります。







袖志棚田の燈夏会

平成28年7月30日(土)に行われました。 3,500個の灯籠で棚田をライトアップ。







萬福寺境内で行われたライブコンサート様子です。









萬福寺境内へ行く階段もライトアップ。









平成28年5月14日(土)に地元の方、京都の大学生、京都生協会員のみなさんによる田植えが行われました。







平成28年9月10日(土)、地元の袖志棚田保存会が主催した棚田の稲刈り体験。天候にも恵まれ、大勢の参加者(約70人)で稲刈りが行われました。





今では大変めずらしい稲木干しの様子です。



袖志棚田米を使用して作った「はったい粉 ボーロ」です。里の公共員さんからの「ふる まい」です。



おなじみのキャスパーです。





26年10月31日(金)ハロウィン 袖志農民会館にて17:00~



オルブライト司令官と通訳の方です。

地域との交流の一環として、本場のハロウィンを地元で。皆さん大いに盛り上がりました。



会館入り口で。





パンプキン(南瓜)の中からお菓子が













































平成28年8月24日(水)穴文殊まつり









経ヶ岬分屯基地司令のあいさつです・



























